

平成29年度 租税教育研究発表要項

山元町立山下小学校

教諭 森 大地

1 研究主題

税に対する興味・関心を高め、税への理解を深める指導の工夫
～主体的に課題を設定し、自ら調べる活動を通して～

2 主題設定の理由

今日のわたしたちの生活は、国や地方公共団体の政策と深く関わっており、この政策に基づく様々なサービスを受けながら生活している。わたしたちの生活と密接に結び付いた教育・環境衛生・警察・消防・社会保障などの公共サービスや、道路・橋・下水道・公園・公民館などの公共施設の建設・整備や維持・管理などの活動は、わたしたちの生活に欠かすことができず、それらの費用のほとんどが税でまかなわれている。また、本校のある山元町は東日本大震災により、沿岸部の住宅やJR常磐線等が甚大な被害を受けた。しかし、現在は新市街地や復興住宅の建築等の新しい町づくりが進められており、それらには国の復興予算等の税金が深く関わっている。

小学6年生の段階で租税の意義や役割などを学習し、税に対する興味や関心を高め、租税への理解を深めることで、国民としての納税の義務を果たそうとする主権者としての自覚をもたせることが大切であると考え本主題を設定した。

3 研究目標

児童が自ら学習課題を設定し、主体的に調べ解決していく学習活動を通して、児童の税に対する興味・関心を高め、税への理解を深める指導を工夫する。

4 研究の仮説

- (1) 児童一人一人が興味をもったことについて学習課題を設定し、自ら調べ解決していく活動を取り入れることで、児童の税に対する理解は一層深まるであろう。
- (2) 山元町の復興事業にかかわる事例を取り上げ、学習を進めることにより、税金が自分たちの安心・安全で豊かな生活と密接に関わっているものとして捉えることができるであろう。

5 研究方法

- (1) 税金に対する意識調査を行い、実態を把握する。
- (2) 租税教室を通し、税金の意義や役割について理解させる。
- (3) 山元町の復興事業に関わる授業を展開し、税金が私たちの生活に密接に関わっていることを理解させる。
- (4) 個人で課題を設定し、インタビューや資料、インターネット等を活用して調べさせる。
- (5) 類似した課題を設定した児童同士をグルーピングし、調査したことを、模造紙に新聞形式でまとめさせる。

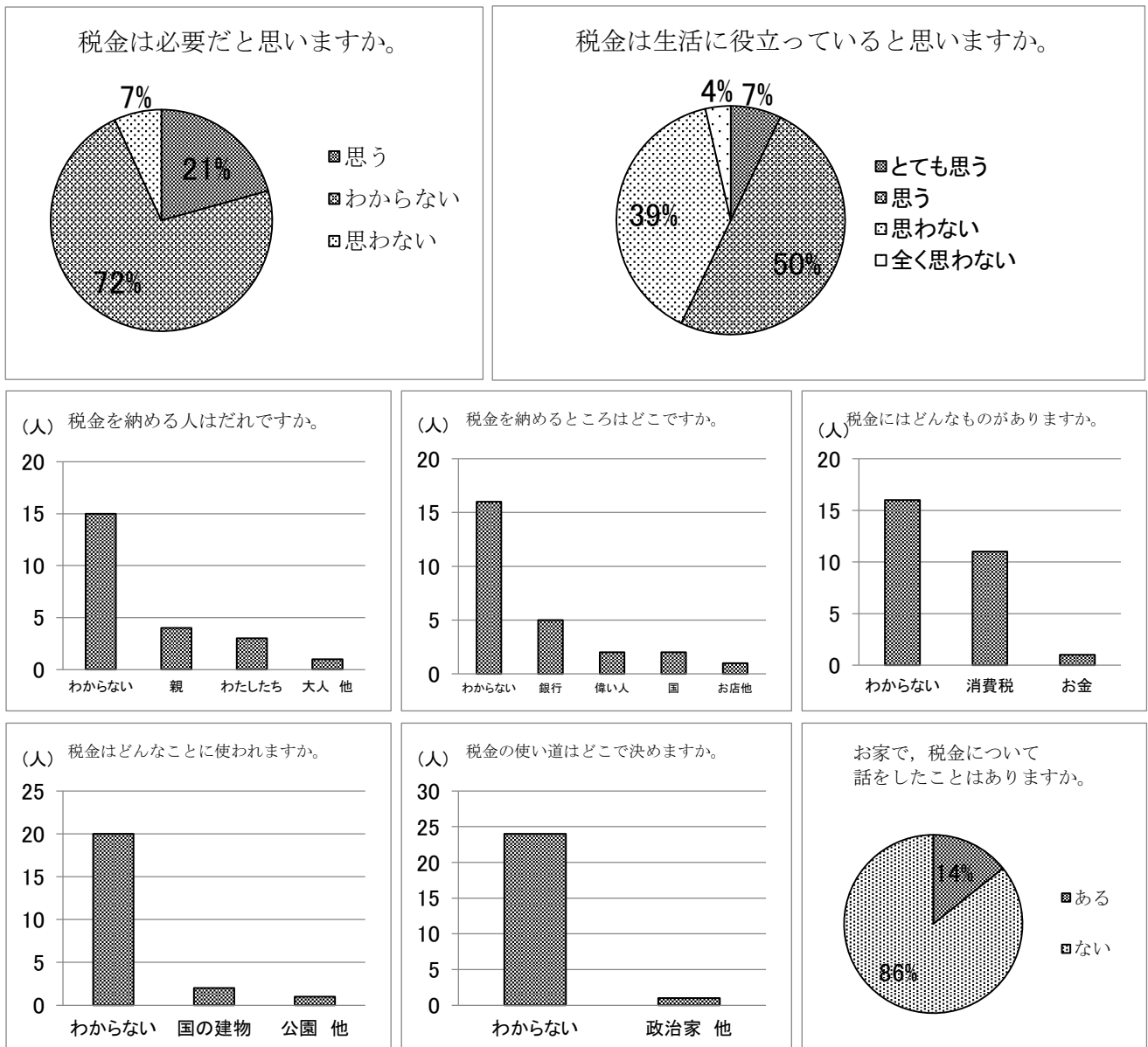
- (6) 発表会を行い、調べた内容を共有させることで、知識を相互に関連付けさせながら、理解させる。
- (7) 事後調査を行い、変容を考察する。

6 研究計画

年次	学年	時期	内容
1	5年	平成29年 2月	意識調査 租税教室①
2	6年	平成29年 7月 夏季休業中 9月 10月 11月	実態調査 調べ学習 租税教室② 授業実践 研究のまとめ 研究発表会 事後調査

7 研究の概要

(1) 意識調査 (平成29年 2月 第5学年 男子12名 女子18名)



【考察】

- ・ 税金という言葉は知っているが、税金の使われ方や集め方、必要性など、どのようなものなのか正しく理解している児童はほとんどいない。
- ・ どの質問項目においても、「わからない」と回答する児童が最も多かった。また、正しい回答が少ないことから、税金についての理解が低い児童が多いことが分かる。
- ・ 納税者については、「わたしたち」と回答した児童が10%と僅かだった。また、使われ方については「国の建物」や「公園」など公共施設や自分たちと関わりのあるもので回答している児童が少なく、税金を身近なものとして捉えている児童が少ない。
- ・ 家庭で「税金についての話題が取り上げられている」という児童は14%であり、その内容の全てが税率の上昇や減税などの話題であった。

以上のような児童の実態から、税金についての正しい知識を理解させることが必要であると考えた。また、税金を児童にとって身近なものとして捉えさせ、税金が生活に欠かせないものであることや税金によって公共のサービスを受けていることについて気付かせていく必要があると考えた。

(2) 指導計画

段 階	主な学習内容	教科・領域	単 元
意識調査	・ アンケートを実施し、児童の実態を把握する。		5
租税教室①	・ 税金について知り、興味・関心を高める。	学活 1	
実態調査	・ 前年度の租税教室を受けての児童の実態を把握する。		6
税金について知ろう 租税教室②	・ 夏休みを利用して、税について調べ学習を行う。		
	・ 税金についての理解を深める。	総合 1	
税金について調べよう	・ 山下駅や新市街地など復興事業と税金の関わりについて知る。	総合 1	
	・ さらに詳しく調べたいと思ったことについて学習課題を設定する。	総合 1	
	・ 学習課題について、資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。	総合 2	
	・ 調べたことをグループ内で発表し合い、考えを深める。	総合 1	
・ 調べたことを新聞にまとめる。	総合 2		
調べたことを伝えよう	・ 発表会を行い、調べたことを友達同士で共有し合う。 ・ 「みやまフェスティバル」で「租税ブース」を設置し、保護者や地域の方々に伝える。	総合 2	
事後調査	児童の税についての理解の変容を見取り、個人内評価につなげる。		

(3) 実践の概要

【第5学年時】

租税教室①（平成29年2月9日）

〈学習内容〉税金について知り，興味・関心を高める。

仙台南法人会青年部会の方々を講師として招き，税金の種類や世界の税率等の基本的な税金の知識について詳しく学習した。また，DVDアニメ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴することで，世の中から税金がなくなるとどうなってしまうのかを知り，なぜ税金が大切なのかを分かり易く学ぶことで，税金の必要性を知ることができた。最後に1億円分の札束のレプリカを持たせてもらい，その重さを体感することができ，児童は税金への興味や関心を高めることができた。

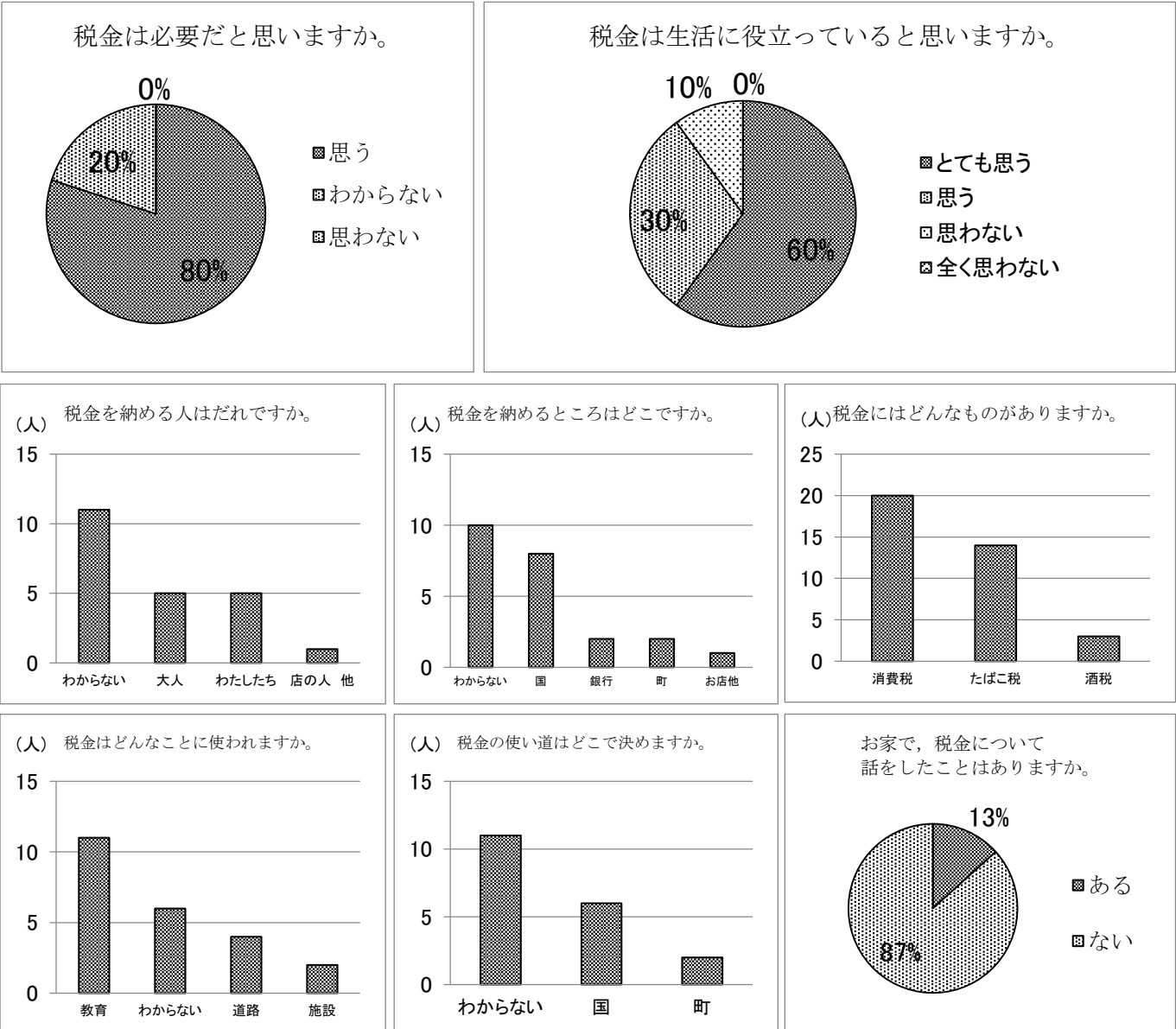
段階	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	1 自己紹介 2 本時の学習課題を知る。 税金について知ろう。		・掲示物
展開	3 消費税について知る。 ・現在の日本の消費税について確認する。 ・世界各国の消費税と比較する。 4 税金の種類について知る。 ・大きく国税と地方税に分けられることを知る。 ・酒税やたばこ税など，身近な物にも税金がかかっていることを知る。 5 税金のない世の中の様子について知る。 ・DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し，税金がなくなった世の中のことについて考える。 6 税金の使われ方について知る ・アニメで視聴した内容の他にも，児童にとって身近な教育に関わる税金の使われ方について知る。 ・災害の復旧作業にも税金が使われていることを知る。 ・税金の使われ方は国会で決められていることを知る。 ・1億円のレプリカを持ち，お金の重さを体感する。	・児童も実際に納めている消費税をあげ，興味や関心を高める。 ・身近な税金の種類をあげ，身の回りにはたくさんの税金があることを知らせる。 ・アニメを通して，税金のある世の中とない世の中の様子を比較させ，税金の必要性を考えさせる。 ・児童自身に直接関わる教育現場（小学校）で使われている税金について知り，必要性を実感させる。 ・使われ方と自分自身の生活を関わらせ，税金の必要性について考えさせる。 ・1億円のレプリカをもつ体験を通して，税金やお金に対する興味をより高めさせる。	・モニター ・DVD ・デッキ ・掲示物
終末	7 本時のまとめをする。 ・疑問に思ったことを質問する。 ・学習感想を書き，分かったことを振り返る。	・児童の新たな疑問や気付いたことを次時への課題とするなど見通しをもたせる。	・ワークシート



写真1 租税教室を通して、税金の基本的な知識を学ぶ児童

【第6学年時】

実態調査（平成29年度 10月 第6学年 男子12名 女子18名）



税金について、昨年度の租税教室を通し、「税金の使われ方」や「税金がないとどうなるのか」などの学習をしているので、税金の必要性や生活に役立っていることなどは実感しているようだった。また、税金に対するイメージも「みんな楽になるもの」「大切なもの」というように漠然としているのが好印象をもちはじめた児童が見られるようになった。一方で、「税金を納めている人は誰ですか」という問いや「税金はどこに納めますか」という問いに対して、半数以上が「わからない」と答えたり、誤った回答をしたりするなど、基本的な知識が十分に身に付いていないことが分かった。以上のような実態から、今年度も昨年度に引き続き「租税教室」などの学習を通して、税金に対する正しい知識を身に付けさせる必要があると考えた。

税金について知ろう

夏季休業中の課題（平成29年7月22日～8月27日）事前調査を実施したところ、第5学年時に租税教室を実施したことで、以前と比較して税金を必要と感じている児童が増えていた。一方で、徴収方法や用途など、まだ十分に理解していないことも分かった。そこで、夏季休業中の課題として、税金について疑問に思ったことを資料やインターネットなどを活用し調べさせることにした。調べた内容は、「税金の使われ方」や「税金の種類」「外国の税金」「税に関する言葉」など様々なものが見られた。

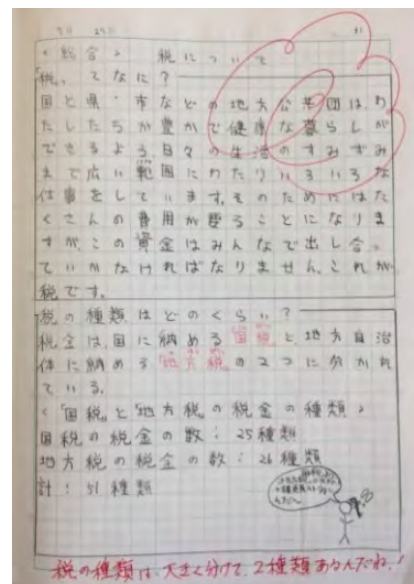


写真2 「税の意味」や「税の種類」について調べた児童のノート

租税教室②（平成29年10月6日）（2時間）

〈学習内容〉税金についての理解を深める。

2回目の実態調査から、税金の大切さについて気付く一方で、「税金は誰が納めているのか」「税金はどこに納めているのか」「税金の使い道は誰が決めているのか」など、児童から新たな課題が出された。そこで、仙台南税務署の方を講師として招き、3点の課題を中心とした内容で2回目の租税教室を実施した。授業の中では、山元町に新しく建設された「つばめの杜ひだまりホール」や復興事業などへの税金の使い道についても触れてもらい、身近なところで税金が使われていることや税金が自分たちのために使われ、生活に密接していることなどにも気付くことができた。また、質疑応答の時間を設け、税金についての疑問を解決することで、より興味・関心を高め、税金への知識を深めることができた。

段階	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	1 自己紹介 2 本時の学習課題を知る。 税金の納め方や使い道について考えよう。		・モニター ・パソコン
展開	3 税金は誰が納めているか知る。 ・消費税や自動車税などを中心に、具体的に納税の対象者について知る。	・買い物をした人、収入のある人、車を持った人など、国民が公平に納めていることを捉えさせる。	・モニター ・パソコン ・ワークシート

展 開	<p>4 税金はどこに納めているのか知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県，市町村に納めていることを知る。 <p>5 税金の使い道について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育費用，社会保障費用，公共事業費用について使われていることを知る。 ・山元町の施設や復興事業にも使われていることを知る。 <p>6 税金の使い道は誰が決められているのか知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会や市町村の議会で話し合っていることについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国税や地方税などの言葉にも簡単に触れる。 ・「公共費用」「教育費用」などの自分たちにも税金が使われていることを捉えさせる。 ・みんなが選んだ代表が決めていることを捉えさせる。 	
終 末	<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことを質問する。 ・学習感想を書き，分かったことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気付きを次時の学習に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ワークシート



写真3 画像やワークシートを活用しながら税金についての知識を再確認する児童

○児童の感想より，租税教室を終えて分かったこと（□）やもっと知りたいこと（□□□□）。

税金を納めるには，年齢は関係ないということや税金の種類は50種類もあることが分かった。

日本で一番多く使われているのは，社会保障に関わることということが分かった。

税金は，私たちが暮らしやすくなるように，いろいろなところに使われている。税金を使っているので，学校などでみんなが検診を受けることができ，病気の予防につながることも分かった。

税金でつくられているものが，思ったよりも多いことが分かった。

学校で使われている税金の金額がすごく高いところに興味をもちました。

税金は上がるがあると知りびっくりしました。これからの税金は，どれくらい上がるのだろう。

税金の歴史を調べたい。できた時から今までどんなものがあったのか。

外国の税金と日本の税金の違いについて調べてみたい。

税金について調べよう（6時間）

【1時間目】

〈学習内容〉・さらに詳しく調べたいと思ったことについて学習課題を設定する。

これまで税金について、どのようなことを学習してきたかを振り返り、税金について分かったことをワークシートにまとめさせた。既習事項を振り返ることで、「納め方」「使われ方」「世界の税」「山元町と税」などについて学んできたことを確認し、これらの言葉をキーワードにしなが、これから調べていきたいことを次時からの学習課題として考えさせた。児童から挙げられた主な課題は、以下のとおりである。

学習課題	調べる内容	学習課題	調べる内容
税金の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・会社に納めている税金 ・買い物をして納める税金 ・国税の種類 ・地方税の種類 	税金の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・税金のはじまり ・今と昔の税金の違い ・税金制度の変化
世界の税金	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の消費税の比較 ・税金がない国はあるのか ・世界の様々な税金 ・世界一消費税の高い国の生活 	税金のこれから	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの消費税 ・なぜ消費税は上がるのか ・少子高齢化と税金 ・税金を納めなくなったら
税金の納め方や使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・県への納め方 ・町や市への納め方 ・税金の使われ方 ・宮城県の税収 	山元町と税金	<ul style="list-style-type: none"> ・山元町の建物やサービス ・復興に使われた税金 ・山下小学校で税金が使われている物 ・「ひだまりホール」と税金

段階	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	1 税金についての既習事項を振り返る。 2 本時の学習課題を知る。 税金についての学習課題をつくらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・税金について、どのようなことを学習してきたか、分かったことを確認させる。 	
展開	3 税金についての学習課題を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を想起し、いくつかのテーマをあげる。 ・あげられたテーマの中から、より自分が調べてみたいことについて考える。 ・似ている学習課題をもった児童が集まり、共通の学習課題をつくる。 4 学習計画と役割分担を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな内容を調べるのか、どのように調べるのか、誰がどんな役割をするのか、グループ毎に決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にとったアンケートで、学習課題にあげられたテーマを紹介する。 ・教師側からテーマについての助言をする。 ・4, 5人程度のグループにする。 ・調べる時間や調べる材料などを具体的に知らせ、見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート ・ファイル ・ワークシート

終末	<p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の学習の計画を見直し、見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学习で調べてきてもよいことを伝える。 ・次時への意欲をもたせる。
----	---	--



写真4 グループの中で、各々の学習課題をどうするか話し合う児童

【2・3時間目】

〈学習内容〉・学習課題について、資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。

一人一人自分の担当する内容について、インターネットや町の広報誌等の資料などを活用しながら調べ学習を行った。インターネットで効率よく調べさせるため、「国税庁ホームページ 税金の学習コーナー」等、児童が設定した学習課題に即した内容が載っているウェブサイトを担当が事前に調べ、サイト集を作成し、提示する等の工夫をした。また、ワープロソフトを活用し、ホームページ上で参考とする部分をコピーし貼り付けることで、自分だけの「電子メモ」にまとめさせる方法も指導したことで、効率よく調べ学習を進めていた。また、本校事務職員にインタビューしたり、山元町役場の総務課の職員の方を通して質問したりしながら、興味を継続して調べ学習を進めることができた。

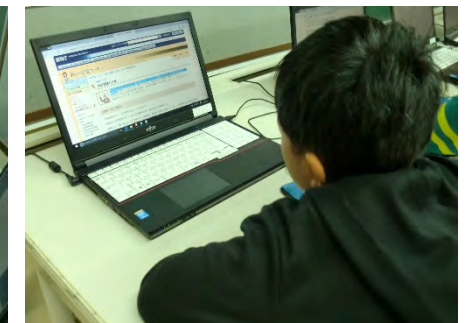


写真5 インターネットや資料を活用したり、インタビューをして聞いたりしながら、自分の学習課題について調べ学習を行う児童

【4時間目】

〈学習内容〉・調べたことをグループ内で発表し合い、考えを深める。

自分の担当する内容についてまとめたことをグループ内で互いに発表し合った。その中で、知識の伝達だけに終わることなく、そこから自分なりに考えることや新たな疑問についても話し合わせることで、「税金は大昔からあるが、今とその意味や使われ方が違う。」「税金にたくさんの種類があるのには、意味があるようだ。」「北欧の消費税率が高い国が幸せなのはどうしてだろう。」など、税金の必要性や税金が豊かな生活のために欠かせないものであることについて触れる新たな学習課題が聞かれた。



写真6 調べた内容を友達に説明する児童とそれに対して質問したり、考えを伝え合ったりする様子

【5・6時間目】

〈学習内容〉調べたことを新聞にまとめる。

自分の担当した内容を記事にし、グループ毎に模造紙で新聞にまとめた。まとめる際には、レイアウトやデザイン、文字の大きさを工夫したり、図や表を入れたりすると相手に伝わりやすいのではないかなど、グループ内で相談し、聞き手を意識しながら、作成を進める様子が見られた。また、新聞の中に個々の感想とグループで考えた税金に対する考えや思いを書かせ、読み手へのメッセージとさせた。



写真7 自分が調べた課題を記事にたり、協力して新聞を作り上げたりする児童

調べたことを伝えよう（2時間）

【1・2時間目】

〈学習内容〉・発表会を行い、調べたことを友達同士で共有し合う。

グループ毎に作成した新聞を發表し合い、税金についての知識を共有した。様々なテーマのグループの発表を聞き合うことで、今まで知らなかったことに気付き、税金についての理解を深めることができた。「税金は生活に欠かせないものということが分かった。」「大人になったらきちんと税金を払っていきたい。」「税金は国民の会費ということが分かった。」という言葉が聞かれ、多くの児童が税金の必要性について気付くことができたようだ。

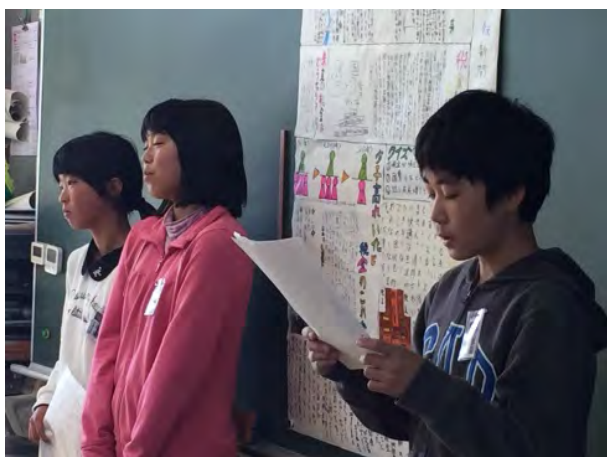


写真8 グループごとに作った新聞を發表する児童

世界の税

新聞

外国の税について

消費税の導入は、日本だけでなく、世界各国でも行われています。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、所得税や法人税と異なり、消費に課税されるため、税源が広く、徴収が容易です。

消費税の導入は、消費者の負担を増加させるという批判もありますが、国の財政を安定させるためには、消費税の導入は避けられません。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

世界のおもしろい税金

世界各国には、さまざまなユニークな税金が存在します。

- フランス**: 結婚祝い金に課税する。
- ドイツ**: 遺言に課税する。
- イタリア**: 離婚に課税する。
- スウェーデン**: 結婚に課税する。
- オランダ**: 結婚に課税する。
- 韓国**: 結婚に課税する。
- 中国**: 結婚に課税する。
- 日本**: 結婚に課税する。

感想

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

消費税の導入は、国の財政を安定させるための重要な手段です。消費税は、商品の販売価格に含まれる税金で、消費者が支払うことになります。

世界の消費税

国名	消費税率	順位
日本	20.0%	1位
フランス	20.0%	2位
ドイツ	19.0%	3位
韓国	10.0%	4位
中国	17.0%	5位
イタリア	22.0%	6位
オランダ	6.0%	7位
スウェーデン	25.0%	8位
韓国	10.0%	9位
中国	17.0%	10位
イタリア	22.0%	11位
オランダ	6.0%	12位
スウェーデン	25.0%	13位
韓国	10.0%	14位
中国	17.0%	15位
イタリア	22.0%	16位
オランダ	6.0%	17位
スウェーデン	25.0%	18位
韓国	10.0%	19位
中国	17.0%	20位
イタリア	22.0%	21位
オランダ	6.0%	22位
スウェーデン	25.0%	23位
韓国	10.0%	24位
中国	17.0%	25位
イタリア	22.0%	26位
オランダ	6.0%	27位
スウェーデン	25.0%	28位
韓国	10.0%	29位
中国	17.0%	30位
イタリア	22.0%	31位
オランダ	6.0%	32位
スウェーデン	25.0%	33位
韓国	10.0%	34位
中国	17.0%	35位
イタリア	22.0%	36位
オランダ	6.0%	37位
スウェーデン	25.0%	38位
韓国	10.0%	39位
中国	17.0%	40位
イタリア	22.0%	41位
オランダ	6.0%	42位
スウェーデン	25.0%	43位
韓国	10.0%	44位
中国	17.0%	45位
イタリア	22.0%	46位
オランダ	6.0%	47位
スウェーデン	25.0%	48位
韓国	10.0%	49位
中国	17.0%	50位
イタリア	22.0%	51位
オランダ	6.0%	52位
スウェーデン	25.0%	53位
韓国	10.0%	54位
中国	17.0%	55位
イタリア	22.0%	56位
オランダ	6.0%	57位
スウェーデン	25.0%	58位
韓国	10.0%	59位
中国	17.0%	60位
イタリア	22.0%	61位
オランダ	6.0%	62位
スウェーデン	25.0%	63位
韓国	10.0%	64位
中国	17.0%	65位
イタリア	22.0%	66位
オランダ	6.0%	67位
スウェーデン	25.0%	68位
韓国	10.0%	69位
中国	17.0%	70位
イタリア	22.0%	71位
オランダ	6.0%	72位
スウェーデン	25.0%	73位
韓国	10.0%	74位
中国	17.0%	75位
イタリア	22.0%	76位
オランダ	6.0%	77位
スウェーデン	25.0%	78位
韓国	10.0%	79位
中国	17.0%	80位
イタリア	22.0%	81位
オランダ	6.0%	82位
スウェーデン	25.0%	83位
韓国	10.0%	84位
中国	17.0%	85位
イタリア	22.0%	86位
オランダ	6.0%	87位
スウェーデン	25.0%	88位
韓国	10.0%	89位
中国	17.0%	90位
イタリア	22.0%	91位
オランダ	6.0%	92位
スウェーデン	25.0%	93位
韓国	10.0%	94位
中国	17.0%	95位
イタリア	22.0%	96位
オランダ	6.0%	97位
スウェーデン	25.0%	98位
韓国	10.0%	99位
中国	17.0%	100位

山元町の税金新聞

山元町の税金について

山元町には、さまざまな税金が存在します。税金は、町民の生活を支えるための重要な手段です。

税金の導入は、町の財政を安定させるための重要な手段です。税金は、町民の生活を支えるための重要な手段です。

税金の導入は、町の財政を安定させるための重要な手段です。税金は、町民の生活を支えるための重要な手段です。

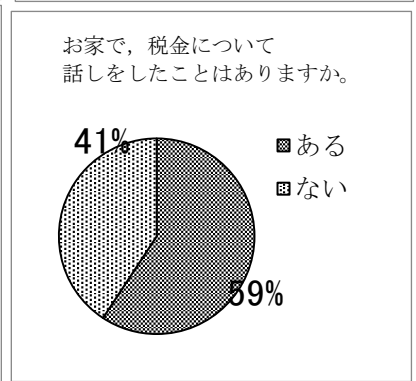
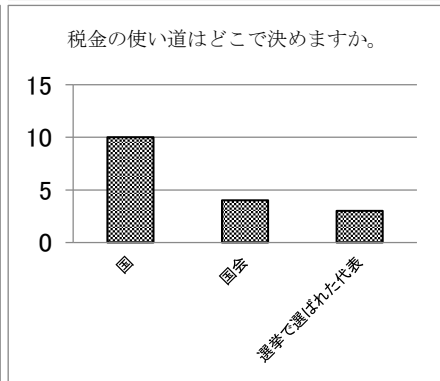
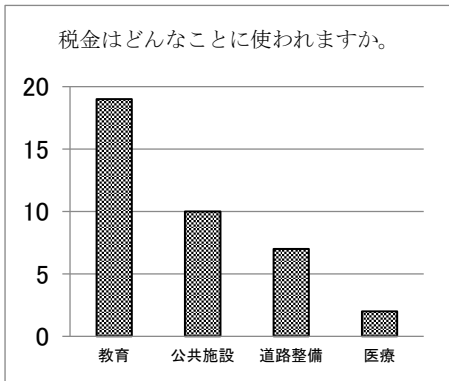
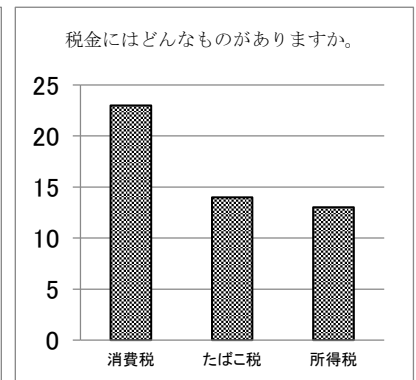
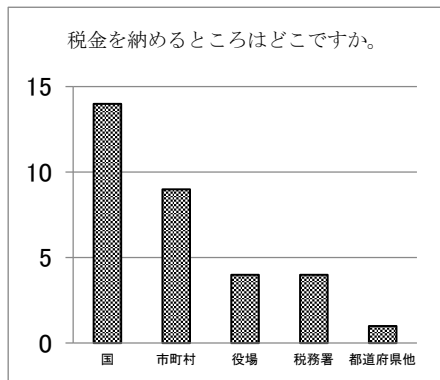
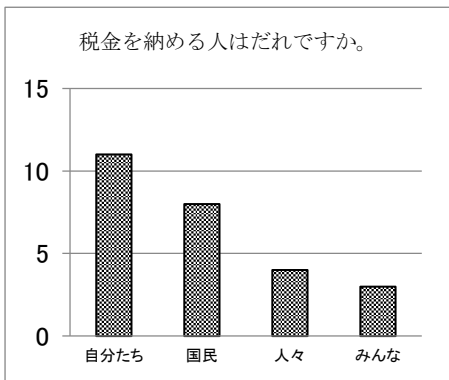
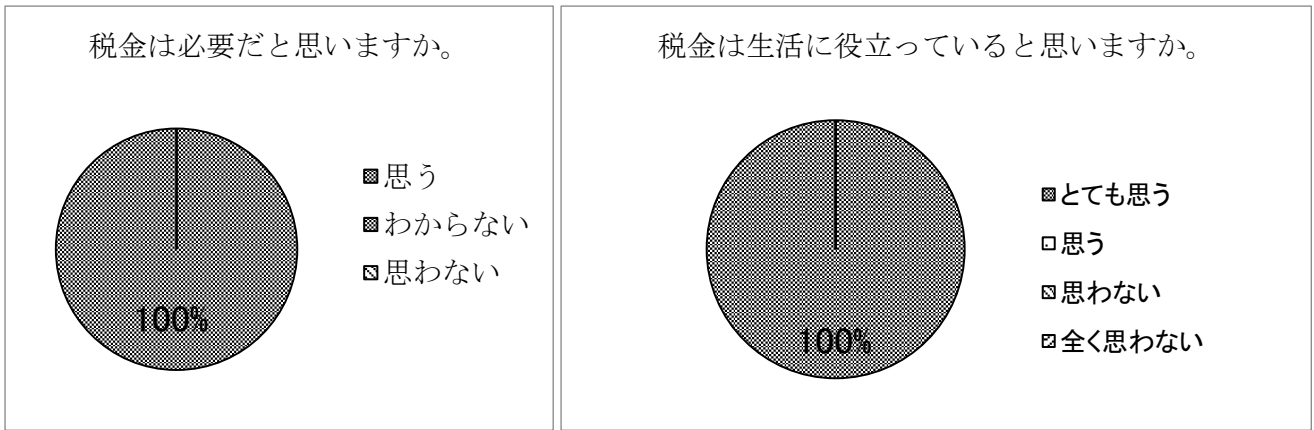
税金の導入は、町の財政を安定させるための重要な手段です。税金は、町民の生活を支えるための重要な手段です。

税金の導入は、町の財政を安定させるための重要な手段です。税金は、町民の生活を支えるための重要な手段です。

○児童が作成した新聞

【第6学年時】

事後調査（平成29年度 11月 第6学年 男子12名 女子18名）



○税金の学習をする前と、今では自分の中でどんなことが変わったと思いますか。

学習する前はなんで税金で必要なんだ？
って思ってたけど今回の学習を通じて
税金はとて大切なんだ！と思った。

消費税をいれがたりしてはいたけどおれはすごく
大切だことが分かった。

税の大切さがよく分らなかつたけど！
学んでみると、税をもっと大切にしよと思った。

最初は税金なんていらな思っていたけど、
今は税金は生活をする上で欠かせない
物だと思ふ。

前は税金に興味はなかつたけどいまはも、税金
を調べていきたいと思ふ

学習する前は、税金は けつなりのものだ
と思つてたけど今では税金はとて大事
なことにつかわれて、なつなつてはまた
思ひました。

○学習後の児童の感想

私は、この学習も通じて分かったことが
あります。それは税金は自分達の生活に
してすごく大事な法と言ったことです。前
まではそんなこと全然わかってなくて、
「たまたま金もついてにはいるもの。」と思
ていました。どうしてそんなことをするのか
も考えることもありませんでした。でも、
今は分かっては本当にこまごまの事と思
うことができました。つづいては税金の種類
があとと言ったことです。昔は消費税の1つだ
と聞いていたけれど、じつはこんなに種類が
あったことには本当にびっくりしました。税金
の役割は、むずかしいことはわかりで、まし
くはなかつたけれど、結果はむしろよかったです。
この役割ができて本当によかったです。

私は、税金は本当に必要だ
と思います。それから、少子高
化の事についても、関係ない
と思、ていたけれど、この学習も
通じて、私もこれからし、かり、
考えて行かなければならぬと思
うようになりました。私は、大人に
なったら、自分たちの幸せのため、
てして、国民の幸せのために
税金をし、かり納める。そん
な大人になりたいです。それから、
特に、税ラニキニで、日本の位
が最下位 近くだと言
事にびっくりしました。

最初は、税金のことを、まったく知
りなかつたし、興味がなかつたけど、
税金勉強をとおして、税の種類や
自分の住んでいる町の税について、
知れてよかつたと思います。
もし、税金がなかつたら、生活して
いけなくて、大変だと思いました。

今までは、税金なんて、知らない
じゃんとか思、ていました。でも、この学習
を通して、どれだけ税金が必要なのか
税金がないとどれだけ大変なのか
そういう点を改めて実感する事が
できました。どれだけ国から補助
を受けているのかなど、どれ
だけ僕たちが、国や周りの人
たちが受けているかなど、今
まで知らなかつた事などを
知ったり感じたりする事が
本当に出きた学習だと思、
ました。この学習で得た知識を
これから大人になる時などに
生かしたい思、ました。

【みやまフェスティバル】

本校独自の行事である「みやまフェスティバル」で、租税学習コーナーを設置した。児童が作成した新聞や学習の様子の写真を掲示し、保護者や地域の方々に税金について学習したことや税金に対する児童の考えを伝えた。



写真9 租税学習コーナーの様子

8 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・学習の前に、児童の税に対する実態調査を実施したことで、児童の税に対する知識がどの程度備わっているのかを把握することができ、実態に応じた指導計画を考えることができた。
- ・租税教室を2回実施したことで、学習効果が上がった。1回目は、導入時に実施し、児童の税に対する興味・関心を高めることができた。また、2回目は、単元の途中で行うことで、税金の基本的な知識を理解することができた。
- ・税金について自ら学習課題を設定し、調べ活動を行うことで、意欲的に学習を進めることができた。また、内容が近い学習課題を設定した児童同士がグループになり、一緒に調べ活動を行ったり、まとめの新聞作りを行ったりすることで、相談しながら主体的に学ぶことができた。
- ・調べ学習の途中で、グループ内で調べたことを発表し合うことで、情報を共有し合い、そこから児童なりの税金に対する考えや新たな疑問が生まれ、学習に深まりをもたせることができた。
- ・事後の実態調査では、「税金は必要だと思いますか」「税金は生活に役立っていると思いますか」の項目で、全員が「必要である」「とても役立つ」と回答し、税金の必要性や大切さを理解することができた。また、他の項目についても、「わからない」と回答する児童はおらず、今回の学習で身に付けた知識を答えることができていた。

【税金は必要だと思いますか。】

	意識調査（5年時）	事後調査
思う	6名	30名
わからない	21名	0名
思わない	2名	0名

【税金は生活に役立っていると思いますか。】

	意識調査（5年時）	事後調査
とても思う	2名	30名
少し思う	14名	0名
あまり思わない	11名	0名
全く思わない	1名	0名

- ・総合的な学習の時間に単元を設定して位置付けることで、社会科とねらいを共有することができた。
- ・まとめの新聞や学習の様子を学校行事「みやまフェスティバル」で紹介し、保護者や地域の方々に紹介することで、税金について児童が分かったことや考えを伝えることができた。

(2) 課題

- ・調べ活動の際に活用できる資料や図書等を一層充実させられればよかった。
- ・外部機関との連携を計画的に行い、様々な分野の方々から専門的な話を聞く機会を設けられればよかった。そうすることで、児童の興味・関心を高めながら、より専門的な知識を身に付けることができたように思う。
- ・1学期から租税の学習をはじめ、個々の学習課題を明確にしていれば、夏季休業中の調べ活動が各自の課題に即した、より充実したものになっていたのではないかと思う。
- ・児童によりの確にアドバイスしたり、方向性を示したりするためには、教師自身が税についてきちんと理解した上で、指導に当る必要があると感じた。そのためには、専門機関に相談し、打ち合わせをしたり、教示いただいたりする必要があると思った。

9 今後の展望

- ・今年度は、総合的な学習の時間にも横断的に単元を設定し、学習を進めていったが、今後も年間計画に位置付けていくことで、継続的に租税教育の充実を図っていくことができると考える。
- ・将来、納税の義務を果たそうとする国民としての自覚をもたせるため、これから学習する社会「わたしたちの生活と政治」と関連付けながら、「税金は安心・安全で豊かな生活を送るために大切なものである」という意識を育てていきたい。